

# 令和1年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

令和2年3月31日現在

## 1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

### (1) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

#### ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営
- (ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

#### イ 第二種社会福祉事業

- (ア) 西岳デイサービスセンターの経営
- (イ) 庄内デイサービスセンターの経営
- (ウ) 横市デイサービスセンターの経営
- (エ) 老人短期入所事業 白寿園の経営
- (オ) 老人短期入所事業 庄内の里の経営
- (カ) 訪問介護事業 望峰の経営
- (キ) 生計困難者に対する相談支援事業（みやざき安心セーフティネット事業）
- (ク) 小規模多機能型居宅介護事業の経営

#### ウ 公益事業

- (ア) 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう
- (イ) 特定施設入居者生活介護事業所 清風園
- (ウ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

### (2) 役員等に関すること

#### 現役員・評議員

役 職	定数	氏 名
理 事	6名	横山 成保（理事長） 立山 静夫、野口 和行、湊上 澄雄、根井 勝泰、馬渡 久続
監 事	2名	田中 瑞生、大河原 弘子
評議員	8名	原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄、徳留 次男 中村 敏郎、馬籠 英男、本村 順吉

退任役員・評議員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	評議員	薬丸 良英	令和1年9月18日	逝去
退任	評議員	姉川 淑子	令和1年9月30日	辞任届

(3) 理事会・評議員会の開催状況に関すること

令和1年度理事会及び評議員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

開催日	議案	結果
令和1年第2回 令和1年6月4日(火) 理事6名、監事1名	報① 専決処分した事件の報告及び承認について ⑨ 平成30年度事業報告について ⑩ 平成30年度理事長の職務執行状況報告について ⑪ 平成30年度事業団会計決算報告について ⑫ 小規模多機能型居宅介護施設の施設整備について ⑬ 社会福祉充実計画(案)について ⑭ 役員の推薦について ⑮ 事業団評議員会の招集等について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和1年第3回 令和1年6月20日(木) 理事6名、監事2名	⑯ 理事長の選定について ⑰ 庄内の里の施設整備(リフォーム)について ⑱ 評議員会の招集等について	可決 可決 可決
令和1年第4回 令和1年11月12日(火) 理事6名、監事2名	報② 評議員の辞任について 報③ 上半期理事長の職務執行状況の報告について ⑲ 令和1年度事業団会計補正予算(第1号)について ⑳ 職員就業規則の一部改正について ㉑ 給与規程の一部改正について ㉒ 慶弔規程の一部改正について ㉓ 庄内の里施設整備について ㉔ 事業団評議員会の招集等について	承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和2年第1回 令和2年3月12日(木) 同意書:理事6名 確認書:監事2名	決議の省略 報① 組織規程の一部改正について ① 令和1年度事業団会計補正予算(第2号)について ② 定款の一部改正について ③ 組織規程の一部改正について ④ 公印規程の一部改正について ⑤ 令和2年度事業団経営方針及び事業計画について ⑥ 令和2年度事業団会計予算について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決

	⑦ 施設長の選任について	可決
	⑧ 事業団評議員会の招集等について	可決

【評議員会】

令和1年第2回 令和1年6月20日(木) 評議員9名、監事1名	④ 平成30年度事業報告について ⑤ 平成30年度事業団会計決算報告について ⑥ 小規模多機能型居宅介護施設の施設整備について ⑦ 社会福祉充実計画(案)について ⑧ 事業団役員の選任について	可決 可決 可決 可決 可決
令和1年第3回 令和1年11月21日(木) 評議員7名	報① 事業団定款の一部改正について 報② 給与規程の一部改正について 報③ 慶弔規程の一部改正について 報④ 庄内の里施設整備について ⑨ 令和1年度事業団会計補正予算(第1号)について	承認 承認 承認 承認 可決
令和2年第1回 令和2年3月24日(火) 同意書:評議員8名	決議の省略 ① 令和1年度事業団会計補正予算(第2号)について ② 令和2年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 令和2年度事業団会計予算について ④ 事業団定款の一部改正について	可決 可決 可決 可決

(4) 内部監事監査に関すること

令和1年5月28日(火)に当法人の監事による平成30年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

(5) 職員配置状況(令和2年3月31日現在)

(単位:人)

雇用区分	本部	清風園	望峰園	白寿園			デイサービス			包括	合計	割合 % (前年度)
				白寿園	ゆう	創生館	西岳	庄内	横市			
第1号職員	1	14	8	28	4	2	2	2	2	5	68	34.9% (31.7%)
第2号職員	1	6	2	22	1	4	2	1	0	2	41	21.0% (19.2%)
第3号職員	0	5	3	1	1	0	0	1	0	0	11	5.6% (5.7%)
第4号職員	0	5	13	11	0	0	2	3	4	2	40	20.5% (20.8%)
第5号職員	0	12	3	10	0	0	1	2	0	0	28	14.4% (16.1%)
第6号職員	0	0	1	2	0	0	1	1	2	0	7	3.6% (6.2%)
合計	2	42	30	74	6	6	8	10	8	9	195	100%

## 2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

- (1) 事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。  
＜改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱＞
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款」の改正
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程」の改正
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団給与規程」の改正
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団公印規程」の改正
  - 「社会福祉法人常陽社会福祉事業団慶弔規程」の改正
- (2) 職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。
- (3) 事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。
- (4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月課長会議を行った。
- (5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。
- (6) 入社式を行った。4/1
- (7) 職員の定期人事異動を行った。4/1
- (8) 職員の定期昇給を行った。4/1
- (9) 平成 31 年度介護福祉士養成支援事業報告書を県長寿介護課に提出した。4/2
- (10) 職員就業規則変更届を労働基準監督署へ提出した。4/3
- (11) 派遣辞令交付（梶井氏）を行った。4/3
- (12) 健康宣言書を協会けんぽへ提出。4/12
- (13) 障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。4/18
- (14) 異動辞令交付（丸山氏）を行った。5/15
- (15) 飯田税理士顧問による決算書確認。5/22
- (16) 平成 30 年度事業団会計監事監査を行った。5/28
- (17) 退職辞令交付（吉川氏）を行った。5/31
- (18) 選考採用辞令交付を行った。6/1 付 5/30 交付
- (19) 地域貢献委員会による環境美化活動（望峰園周辺）を行った。5/25
- (20) 福祉医療機構へ「事業報告書」を提出した。6/25
- (21) 社会福祉充実計画承認申請書を申請した。6/26
- (22) 役員変更登記及び資産変更登記をした。6/27
- (23) 財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/28

- (24) 小規模多機能型居宅介護施設の補助金交付申請を市に申請した。7/1
- (25) 異動辞令交付（鳥越氏）を行った。7/1
- (26) 宮崎労働局へ高齢者・障がい者雇用状況「6・1調査」を報告した。7/2
- (27) 第3セクター経営状況調査票を退出した。7/2
- (28) 都城税務署へ公益法人等損益計算書等を提出した。7/4
- (29) 退職辞令交付（水久保氏）を行った。7/9
- (30) 平成30年度介護職員処遇改善加算実績報告書を提出した。7/2
- (31) 全事協九州ブロック会議（北九州市）に参加した。7/18～19
- (32) 都城市人権啓発研修会へ参加した。7/25
- (33) 令和元年度第1回職員全体研修を行った。（135名参加）7/26 講師：ホームクリニックみまた郡山晴喜院長 演題：“ここで看取ってもらいたい”を叶えるために
- (34) 介護支援専門員の採用試験を行った。7/26
- (35) 第2回新任者研修を行った。8/1
- (36) 盆地祭り（踊り連）に参加した。8/3
- (37) 社会福祉法人経営協研修に参加した。8/5
- (38) 小規模多機能型居宅介護の補助金交付が決定した。8/6  
入札通知発送 8/15、現場説明 8/21～8/23、開札 9/5、精査 9/5～9/10、契約 9/12
- (39) 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定式」（2回目）に出席 8/26
- (40) 令和元年度介護職員等特定処遇改善加算を申請した。8/27
- (41) 採用辞令交付（花森氏）を行った。9/1付 9/2交付
- (42) 社会福祉法人まりあ・常陽社会福祉事業団合同勉強会を行った。8/31
- (43) 令和元年度職員採用試験の周知を行った。7/15  
申込期間（一般）9/6～（高校生）9/5～9/13、第一次試験選考委員会 9/10、第一次試験合格発表 9/13、第二次試験 9/21、選考委員会 9/26、第二次試験合格発表 9/27
- (44) 白寿園「庄内の里」改装工事設計監理業務の委託契約を締結した。9/9
- (45) 全事協に現況届を提出した。9/12
- (46) 介護保険指定更新（白寿園・3デイ・短期入所）申請書を提出した。9/24
- (47) 退職辞令交付（益留氏）を行った。9/30
- (48) 平成31年4月1日付条件付採用が正採用となった。10/1
- (49) 平成31年度最低賃金保障により改定を行った。10/5
- (50) 令和元年度第2回職員全体研修（事例発表）を行った。（128名参加）10/18
- (51) 介護福祉士養成支援事業の補助金等交付申請書を宮崎県へ提出した。10/25
- (52) 宮崎県エリアネットワーク会議に出席した。10/31
- (53) 退職辞令交付（小中野氏）10/31
- (54) 令和元年度職員内部登用試験を行った。11/19 選考委員会 11/26、合格発表 11/29
- (55) 令和元年度第2回職員採用試験を行った。 第一次試験（書類選考）12/10  
第一次合格発表 12/11、第二次試験 12/21、選考委員会 12/26、第二次合格発表 12/27
- (56) 退職辞令交付 11/30（鳥越氏）

- (57) 地域貢献委員会による環境美化活動（白寿園周辺）を行った。11/30
- (58) 異動辞令交付 12/1
- (59) 赤い羽根共同募金（職域共同募金）を行った。12/2
- (60) 人権啓発推進大会へ出席した。12/7
- (61) 全職員に対し職員勤務評定を行った。12/1
- (62) 介護職員等特定処遇改善手当を支給し始めた。12/21
- (63) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。12/27
- (64) 介護施設等施設開設準備経費等支援事業「補助金等交付申請書」を申請した。1/17
- (65) 異動・採用辞令交付を行った。2/1
- (66) 小規模多機能の備品関係の入札 入札通知発送 2/3、開札 2/13、契約 2/14
- (67) 小規模多機能の介護保険指定申請を行った。2/13
- (68) 小規模多機能の施主検査を行った。2/25
- (69) 介護保険更新申請（ケアプランサービスゆう）を行った。2/19
- (70) 採用辞令交付を行った。3/1
- (71) 社会福祉充実計画による職員処遇改善事業として一時金を支給した。3/10
- (72) 新たに3名の有期契約労働者から無期労働契約転換申込があり受理通知書を通知し、令和2年4月1日から無期雇用（計17名）となる。3/23
- (73) 小規模多機能型居宅介護事業「創生館」の開所式を行った。3/30
- (74) 異動辞令交付を行った（創生館）。3/30
- (75) 定年退職辞令を交付した。3/31

## 養護老人ホーム清風園の概況

### 1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

#### (1) 生活相談・支援

ア 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

#### (2) 健康管理

ア 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・グラウンドゴルフ等を定期的実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。

ウ 新型コロナウイルス感染症発生防止の為、R2年2月26日より面会制限し、「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」に従い、感染予防対策の徹底を図った。

#### (3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。

ウ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

#### (4) 地域社会との交流

ア 清風園においては一人暮らし高齢者に対して食の自立支援事業（配食サービス）を行い、食を通じて在宅高齢者の生活援助に努めた。

イ 地域福祉のセンター的役割を果たすため、積極的に地域の幼稚園、小・中学校及び支援学校の生徒の皆さんとの交流、及び、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。

ウ 西高校等、ボランティアの積極的な受け入れを実施した。

(5) 職員の資質向上

ア 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。

イ 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

(6) 防災・防犯対策

ア 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。

イ 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

ア 空調設備の老朽化に伴い、計画的に中央集中管理方式から個別空調方式に更新するため、本年度は一階居室等を施工した。

ア 居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

## 2 事業実施状況

### 平成31年

- 4月 3日 特攻碑・墓地清掃(毎月) 書道クラブ(毎月)
- 5日 買い物日(毎月2回)
- 6日 第43回都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭参列
- 8日 散髪(毎月)
- 9日 グランドゴルフ(毎月) 事業所会議(毎月第2火曜日)
- 11日 誕生会(毎月第2木曜日)
- 12日 (県南)施設長・相談員合同会議(山之口)
- 14日 生花クラブ(毎月)
- 16日 課長会議(毎月第3火曜日)
- 17日 避難訓練(毎月)
- 18日 喫茶コーナー(毎月第3木曜日)
- 19日 機能回復訓練(毎月第3金曜日)
- 21日 カレンダー作成(毎月)
- 23日 経営者会議(毎月)
- 25日 安全感染委員会  
栄養管理委員会(毎月) 職場内研修(年6回) 音楽リハ(毎月)
- 27日 入所者との話し合い(毎月第4金曜日)

### 令和元年

- 5月10日～6月30日 第2期清風園・横市デイ空調設備更新工事
- 15日 自家発電電気設備点検
- 16日 (県南) グランドゴルフ交流大会(高城) 利用者15名参加
- 5月28日 (県)研修企画担当者養成研修(～29日) 1名参加
- 6月 5日～6月10日 清風園・横市デイ排煙窓修繕工事
- 3日 (実習)きりしま支援学校(高等部) 4名
- 7日 (県南)栄養士研修(清風園主催)



- 12日 (県)メンタルヘルス研修 1名参加  
 14日 (県南)調理員研修(えびの) 1名参加  
 17日 (実習)きりしま支援学校(中等部) 3名  
 20日 (県)福祉職員キャリアパス対応生涯研修 1名参加  
 7月 2日 (県)施設における食の安心・安全研修 1名参加  
 5日 五十市中学校3年生実習 8名  
 12日 (県南)事務員研修 1名参加  
 18日 清風園納涼夏祭り  
 19日 (県)認知症の基本理解 1名参加  
 26日 事業団全体研修(福社会館)  
 8月 13日 お盆法要・法話(撰護寺)  
 16日 (県南)施設長・相談員合同研修(たちばな荘) 3名参加  
 28日 (県)養護老人ホーム役員研修会  
 30日 (県)医学基礎知識研修 1名参加  
 31日 事業団・まりあ合同勉強会(福祉用具について)  
 9月 3日 (県)コミュニティソーシャルワーク研修 1名  
 12日 清風園敬老会「一日施設長 横山地区社協事務局長」  
 20日 きりしま支援学校との交流(交流センター)  
 26日 (県)チームを支える初任者メンバーシップ研修(宮崎) 1名  
 27日 九州ブロック介護福祉士会研修会(宮崎) 2名参加  
 (法人)障がい者通所施設見学 2名参加  
 29日 都城市高齢者部会 人間力向上研修 5名参加 ウェルネス交流プラザ  
 10月 17日 (県南)利用者交流大会(高崎) 利用者21名参加  
 18日 事業団事例報告実践研修(福社会館)  
 24日 (県南)相談員先進地視察研修(鹿児島)  
 11月 5日 きりしま支援学生体験実習(中等部) 3名  
 11日 きりしま支援学生体験実習(高等部) 3名  
 18日 総合防災避難訓練(消防署立ち合い)  
 22日 (県)苦情解決セミナー 1名参加  
 25日 入所者健康診断  
 26日 (県)キャリアパス対応研修チームリーダー 1名参加  
 12月 3日 きりしま支援学校小学部 餅つき交流  
 5日 相愛保育園とのクリスマス交流  
 7日 (県)養護老人ホーム職員研修(宮崎) 2名参加  
 9日 (県)高齢者虐待防止研修 1名参加  
 令和2年  
 1月 7日 初詣(母智丘神社)  
 10日 (県南)施設長・相談員合同会議(東岳荘) 3名参加  
 2月 3日 節分(豆まき)  
 4日 (県)老サ協研究大会 職員発表 4名参加  
 26日 新型コロナ感染症予防のため面会制限開始

3 職員の状況

施設長 1(0)	嘱託医 2(2)	副施設長兼相談員 1(0)	相談員 2(0)	主任支援員 1(0)	介護支援専門員 1(0)相談員兼務
支援員兼介護員 21(5)	看護職員 3(1)	栄養士 1(0)	調理員 10(6)	事務職 2	計 44(14)

( )内は非常勤職員を再掲

4 月別入居者入退居の状況

令和2年. 3. 31現在

	入 居			退 居			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成31年 4月	0	1	1	0	0	0	8	62	70
5月	0	0	0	0	0	0	8	62	70
6月	0	0	0	0	1	1	8	61	69
7月	1	0	1	1	0	1	8	61	69
8月	0	1	1	0	0	0	8	62	70
9月	0	1	1	0	1	1	8	62	70
10月	0	1	1	0	1	1	8	62	70
11月	1	0	1	1	0	1	8	62	70
12月	0	0	0	1	2	3	7	60	67
令和2年 1月	1	0	1	0	2	2	8	58	66
2月	1	0	1	0	2	2	9	56	65
3月	0	0	0	0	0	0	9	56	65
合計	4	4	8	3	9	12	97	724	821

\*退居者の状況

\*入所者の状況

退居後の居所	家 庭	0	入居所前の 合 計	家庭	5
	病 院	6		病院(精神)	1
	養護老人ホーム	0		老人保健施設	1
	老人保健施設	0		ショートステイ	1
	特別養護老人ホーム	0			
	介護付有料老人ホーム	0			
	死 亡	6			
合 計	12		8		

5 年齢階層別調

令和2年. 3. 31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性		4	1	1	1	1	0	1	0	9	76歳4月
女 性		2	3	7	13	13	14	3	1	56	85歳5月
合 計	0	6	4	8	14	14	14	4	1	65	84歳2月

6 在居期間

令和2年. 3. 31現在

期 間	男	女	計
1年未満	3	5	8
1～5年	4	26	30
5～10年	1	13	14
10年以上	1	12	13
合 計	9	56	65

7 要介護度の状況

令和2年. 3. 31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	4	27	31
要介護1	1	8	9
要介護2	2	8	10
要介護3	1	10	11
要介護4	0	4	4
要介護5	0	0	0
合 計	8	57	65

8 食の自立支援事業

	利用者数	配食数	* 食事の調理が困難な高齢者に対して、事前計画に基づいて定期的に居宅に訪問して栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施する。	
H31年 4月	19	296		
5月	19	358		
6月	19	342		
7月	18	381		
8月	18	337		
9月	19	325	令和1年 1月	20 362
10月	21	354	2月	21 343
11月	21	350	3月	21 427
12月	20	365	合計	174 3,108

## 養護老人ホーム望峰園の概況

### 1 事業概要

入居者の自主性を尊重しながら、生きがいを持って安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備を基本方針として、支援を行い介護ニーズへの対応の充実を図る事を目的として、次の事業を実施した。

#### (1) 生活相談・支援

ア 入居者相互の思いやりのある人間関係のもとに、楽しい充実した集団生活が送れるように相談支援に努めた。

イ 入居者のニーズや適性を把握しそれぞれに応じたクラブ、行事等への参加を促し相互の融和を図りながら生きがいづくりに努めた。

#### (2) 健康管理

ア 毎日のラジオ体操、棒体操のほか、園庭散歩、グラウンドゴルフ、レクリエーション等を実施して、健康の保持増進に努めた。

イ 嘱託医との連携により、疾病の早期発見、早期治療に当たると共に、定期健康診断のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

ウ 身辺整理の励行及び、衛生管理を援助した。新型コロナウイルス感染防止対策について、利用者のマスク着用、手指消毒を徹底した。家族への面会制限を周知し利用者及び職員の感染防止対策に努めた。

#### (3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況、社会環境を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対して、職種間の連携体制を整え適切かつ円滑なサービスの提供に努めた。

ウ 嗜好と栄養面を考慮した給食を提供し、行事食も取り入れバランスのとれた献立としさらに外食会等も実施して、食生活面での生きがいと健康の増進に努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事、外食会等を計画し活動的で質の高い生活を提供できるように努めた。新型コロナウイルス感染防止対策のため行事計画の一部変更を行い利用者の生きがい活動実施に努めた。

#### (4) 地域社会との交流

ア 地域の関係団体やボランティアとの交流や作品展への参加により、地域の理解を深められるように努めた。

イ 学生の職場体験の受け入れや、施設周辺の清掃活動をすることで地域に貢献できるように努めた。

#### (5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため、各種研修会等に参加すると共に職場内研修を実施して、職員の資質向上に努めた。

#### (6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

#### (7) 施設・環境整備

ア 居室内外の定期的な清掃の他、樹木の剪定や害虫駆除によって年間を通じて園庭の美化を図り、毎日の生活が心おだやかに送れるように努めた。

イ 入居者の自発的な除草や清掃作業等によって、園庭の美化を図った。

### 2 実施状況(次ページ)

平成 31 年

- 4 月 1 日 内科回診(毎週月曜日)  
2 日 血圧・体重測定(毎月)、身長測定(年 2 回)、職員研修・避難訓練(職員対象)  
4 日 観桜会(園庭)、預金日(毎週木曜日)、出張販売(毎週木曜日)  
8 日 介護研修会(2 ヶ月に 1 回開催)  
9 日 誕生会、検便(調理)  
11 日 生花クラブ(毎月)、事業所会議・安全委員会・感染委員会  
12 日 県南ブロック施設長・相談員合同会議  
14 日 散髪の日(毎月)  
16 日 カラオケクラブ(毎月)、課長会議(毎月第 3 火曜日)  
18 日 喫茶(酒まんじゅう・マドレーヌ・水ようかん)  
23 日 園内グランドゴルフ大会、経営会議(毎月)  
25 日 利用者集会(毎月)
- 5 月 5 日 散髪の日  
7 日 血圧・体重測定  
9 日 誕生会、事業所会議・安全委員会・感染委員会  
10 日 県老協総会(施設長)  
12 日 母の日(行事食)  
14 日 生花クラブ、職員会議・職員研修、検便(支援員・調理員)  
16 日 県南ブロック利用者交流大会(運営担当)  
21 日 利用者健康診断(21 日、22 日、23 日、28 日)、カラオケクラブ  
30 日 避難訓練、利用者集会
- 6 月 2 日 散髪の日  
3 日 介護研修会  
4 日 血圧・体重測定  
6 日 誕生会(テーブルバイキング)  
7 日 県南ブロック栄養士研修(清風園)  
11 日 ショッピング外食会、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(調理)  
13 日 ショッピング外食会(イオン早鈴店)、職員会議 職員研修  
14 日 県南ブロック調理員研修会(真幸園)  
18 日 生花クラブ、課長会議  
19 日 選択食(うな井・親子井・牛井)  
25 日 カラオケクラブ、中郷中学校福祉施設体験学習(4 名)、経営会議  
27 日 避難訓練、利用者集会
- 7 月 2 日 血圧・体重測定  
3 日 誕生会(三色そうめん)  
5 日 姫城中学校福祉施設体験学習(6 名)  
9 日 生花クラブ、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(支援員・調理員)  
11 日 職員会議・職員研修  
12 日 県南ブロック事務員研修(友愛園)  
16 日 カラオケクラブ、屋内外清掃 課長会議  
18 日 夏祭り(納涼の夕べ)  
19 日 職員懇親会  
22 日 全館床ワックス処理(7 月 22 日～7 月 26 日)  
23 日 喫茶(手作りクレープ)、経営会議  
25 日 避難訓練、利用者集会

- 26日 事業団研修
- 8月1日 都城西諸地域産業支援センター健康相談(職員)
- 2日 七夕飾りつけ
- 5日 介護研修会
- 6日 誕生会
- 8日 盆法要・法話(信行寺)、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 13日 行事食(盆精進料理 8月13日～8月15日)、盆迎え火、検便(調理)
- 15日 盆送り火
- 16日 県南ブロック施設長・相談員合同会議(たちばな荘担当)
- 20日 カラオケクラブ、課長会議
- 22日 避難訓練、利用者集会、職員会議 職員研修
- 27日 経営会議
- 9月3日 血圧・体重測定、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 5日 生花クラブ
- 8日 散髪の日
- 10日 総合防災訓練、防火設備点検(年2回)、検便(支援員・調理員)
- 12日 令和元年度敬老会・誕生会(松花堂弁当・茶碗蒸し)、職員会議・職員研修
- 16日 行事食(敬老の日)
- 17日 カラオケクラブ、課長会議
- 19日 彼岸法要・法話(信行寺)、喫茶(どら焼き)
- 23日 行事食(秋分の日)
- 24日 利用者集会、経営会議
- 26日 令和元年度望峰園健康運動会
- 10月1日 血圧・体重・身長測定、散髪の日
- 3日 誕生会(助六寿司、煮付、吸い物、煮豆)
- 7日 介護研修会(感染症)
- 8日 生花クラブ、事業所会議・安全委員会・感染委員会、検便(調理)
- 10日 県南ブロック支援員研修(慈恵園)
- 15日 課長会議
- 16日 麺の選択食(ちゃんぽん・肉うどん・焼きそば)
- 17日 県南ブロック利用者交流大会(アシステッドリビングみまた)
- 18日 職員会議・職員研修、事業団職員研修(事例発表)
- 24日 県南ブロック先進地視察研修(相談員 24日～25日)
- 25日 中郷地区戦没者合同慰霊祭
- 28日 利用者インフルエンザ予防接種
- 29日 避難訓練、利用者集会、カラオケクラブ
- 11月3日 行事食(変わりごはん)、事業所会議
- 5日 血圧・体重測定、望峰園グランドゴルフ大会
- 7日 誕生会(握り寿司・おでん・焼鳥・麺類)、県南ブロック看護師研修(寿峰園)
- 8日 中郷地区文化祭(8日搬入、9日展示、10日展示・搬出)
- 12日 散髪の日、検便(支援員・調理員)
- 14日 生花クラブ、職員会議 職員研修
- 19日 利用者健康診断(19日・21日・22日・26日)
- 20日 行事食(バイキングレストラン)
- 21日 カラオケクラブ

- 22日 福祉サービス苦情解決セミナー
- 28日 避難訓練、利用者集会
- 29日 全館床ワックス処理 職員懇親会
- 12月2日 全館床ワックス処理(12月2日～12月5日)、介護研修会
- 3日 血圧・体重測定、散髪の日、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 5日 忘年会・誕生会(すき焼き)
- 10日 大掃除、検便(調理)
- 11日 都城市介護保険課集団指導
- 12日 生花クラブ、職員会議・職員研修
- 17日 餅つき、課長会議
- 24日 クリスマス喫茶、冬物衣料品支給
- 26日 避難訓練、利用者集会、カラオケクラブ、経営会議
- 27日 正月飾り付け
- 31日 行事食(年越しそば)

令和2年

- 1月1日 行事食(おせち料理 1月1日～1月3日)
- 2日 初風呂
- 7日 血圧・体重測定、散髪の日、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 9日 誕生会・新年会(山菜ごはん・和風ステーキ)
- 10日 県南ブロック施設長・相談員合同会議(東岳荘)
- 14日 初詣、職員会議・職員研修、検便(支援員・調理員)
- 16日 生花クラブ
- 20日 宮崎県集団指導
- 21日 課長会議
- 22日 中郷地区福祉施設意見交換会
- 23日 カラオケクラブ
- 24日 都城市介護保険課集団指導
- 28日 経営会議
- 30日 避難訓練、利用者集会
- 2月3日 節分、介護研修会
- 4日 血圧・体重測定、令和元年度宮崎県老人福祉サービス研究大会
- 6日 誕生会(赤飯・ちゃんこ鍋)、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 10日 検便(調理)
- 13日 生花クラブ、散髪の日、職員会議・職員研修
- 18日 喫茶(手作り菓子)、課長会議
- 20日 カラオケクラブ
- 25日 経営会議
- 27日 避難訓練、利用者集会
- 3月3日 血圧・体重測定、散髪の日、行事食、事業所会議・安全委員会・感染委員会
- 5日 総合防災訓練、防火設備点検
- 10日 誕生会(赤飯・チキン南蛮・茶碗蒸し)、検便(支援員・調理員)
- 12日 生花クラブ、職員会議・職員研修
- 17日 課長会議
- 19日 カラオケクラブ
- 26日 衣類フリーマーケット
- 31日 利用者集会

### 3 職員の状況

R2.3.31現在

施設長	副施設長兼 主任生活相談員	相談員	事務員	看護職員	栄養士
1	1	1	1	2	1
調理員	主任支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	嘱託医	計
7(4)	1	1	15	1(1)	32(5)

( ) は非常勤職員再掲

### 4 月別入所者入退所状況

区分 月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4							8	42	50
5					1		8	41	49
6		1					8	42	50
7							8	42	50
8							8	42	50
9					1		8	42	50
10		1			2		8	40	48
11					1		8	39	47
12					1		8	38	46
1		2					8	40	48
2	2	1		1			9	41	50
3					1		9	40	49
合計	2	5	0	1	7	0			

### 退所後の状況（令和元年度）

退 所 後 の 状 況	在 宅	0
	医療機関	1
	他の養護老人ホーム	0
	特別養護老人ホーム	3
	老人保健施設	0
	死 亡	2
	その他（グループホーム）	2
合 計	8	

### 5 年齢階層別調

R2.3.31現在

年齢	64～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	計	平均 年齢
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	以上		
男	0	3	3	1	2	0	0	9	78歳7月
女	1	3	6	12	5	8	5	40	85歳4月
計	1	6	9	13	7	8	5	49	84歳1月

### 6 在所期間

R2.3.31現在

期 間	男	女	計
1年未満	2	5	7
1～5年	4	21	25
5～10年	1	6	7
10～20年	2	7	9
20年以上	0	1	1
合 計	9	40	49

### 7 要介護度の状況

R2.3.31現在

要介護度	男	女	計
要介護 1		2	2
要介護 2		2	2
要介護 3	1		1
要介護 4		2	2
要介護 5		2	2
合 計	1	8	9

# 特別養護老人ホーム白寿園の概況

## 1 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

### (1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、ボランティア等の協力援助を受け園内外の環境美化に努めた。

### (2) 生活指導

ア 日々の生活を充実させるため、昼の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。

イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また昨年同様、園内の雰囲気をやかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

### (3) 健康管理

ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。

イ 非常勤理学療法士により週一回の全体での機能回復訓練を行うと共に、機能訓練指導員が生活の中での機能訓練に努めた。

ウ ノロウイルス・インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスの感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。特に2月以降は新型コロナウイルスの感染予防対策として、集団行事の中止や家族の面会制限等を行い集団感染予防対策に努めながら、各ユニットで個別レク、WEB面会を行い入居者の身体面・精神面の低下予防に努めた。

### (4) 入居者の介護

ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう家庭訪問等で再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。

イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。

ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。

エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。

オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるよう



に努めた。

(5) 地域社会との交流

- ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。
- イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。
- ウ 地域交流センターで月1回喫茶コーナー（茶話会）を実施し地域の方々との交流を一層深めて行くよう努めた。
- エ 地域主催の介護教室等積極的に協力し、地域福祉の担い手となるように努めた。

(6) 職員の資質の向上

- ア 介護技術向上のため、抱えない介護研修会・介護技術研修会・ユニット関連の研修会参加に積極的に取り組み質の向上に努めた。
- イ 介護福祉士養成実習施設として、高校や専門学校等の研修生を積極的に受け入れた。
- ウ 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。
- エ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。
- オ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。
- カ 県内外の先進施設との交流を図り、職員の資質向上や意識の向上を図った。

(7) 非常災害対策

- ア 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年2回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

(8) 地域における公益的な取り組み

- ア 既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困窮者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援活動に努めた。

## 2 実施状況

月例	音楽リハ	(第2・4月曜日)
	個別リハ	(毎週水曜日)
	誕生会	(毎月 各ユニット)
	理髪の日	(毎月)
	避難訓練	(毎月)
	課長会議	(毎月 第3火曜日)
	施設長会	(毎月 第4火曜日)
	リーダー会	(毎月)
	事業団介護相談員相談日	(毎月第3木曜日)
	ユニットケア推進委員会	(毎月)

(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪)  
 喫茶コーナー開設 (4月～11月) 毎月ボランティア協力8名程  
 新規採用者職場内研修 (3日間) 職員採用時  
 事故発生防止委員会感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会  
 褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会 (毎月随時)  
 インフルエンザワクチン予防接種 (11月)  
 腰椎検査 (3月) 夜勤者検診 (7月)

令和元年

- 4 3 新人研修 (5日まで)
- 9 花まつり
- 9 職員検便 (毎月：調理、隔月：直接処遇職員)
  
- 5 9 庄内地区意見交換会
- 1 3 焼肉会 (各ユニット 16日まで)
- 1 5 (研修) 福祉の基礎知識習得
- 1 5 庄内地区社協総会
- 2 0 コア学園 (職場体験) 学生2名 (6/27まで)
  
- 6. 1 (研修) 排泄ケア
- 1 4 (研修) 宮崎県衛生管理者等交流会
- 2 5 (研修) 抱えない介護勉強会 (年4回、講師専任作業療法士)
  
- 7. 8 (研修) レジオネラ属菌汚染防止対策講演会
- 9 (研修) キャリアパス中堅 (7/10まで)
- 9 (実習) 小林秀峰高校 (7/12まで)
- 1 0 願心寺婦人部ボランティア
- 2 3 キャリアパス初任者 (7/24まで)
- 2 4 西区六月灯踊りボランティア
- 2 9 ソーメン流し (各ユニット 8/2まで)
  
- 8. 1 (実習) 都城高校 (3年生 3名 8/9まで)
- 1 (研修) みやざき安心セーフティーネット事業・相談員 (8/2まで)
- 6 農業高校インターシップ (8/8まで)
- 1 9 ソーメン流し (各ユニット 8/23まで)
- 1 9 (研修) ユニットケア～24Hシート
- 2 1 (実習) 都城高校 (2年生 2名 9/13まで)
- 2 1 コアカレッジ企業巡見
- 2 2 (研修) キャリアパスチームリーダー (8/23まで)
- 2 3 花火
- 3 0 県南ブロック研修会
- 3 0 (研修) 抱えない介護勉強会 (年4回、講師専任作業療法士)
  
- 9. 9 (実習) 小林秀峰高校 (1名 9/19まで)
- 1 4 敬老祭
- 2 5 (実習) 都城高校 (1年 2名 9/27まで)
- 2 6 (研修) 介護福祉士会九州大会 (9/27まで)

- 10. 1 庄内地区スポレク大会
  - 4 (研修) 福祉機器セミナー (10/5 まで)
  - 9 (研修) CoreTEX 関西 (10/10 まで)
  - 10 県南ブロックミニバレー大会
  - 15 農業高校ボランティア (40 名)
  - 17 (研修) 腰痛・転倒災害防止
  - 18 事業団辞令研究発表会
  - 21 サンマ焼き (各ユニット 10/25 まで)
  - 24 庄内地区介護者の集い
  - 26 (研修) 国際福祉機器展
  - 29 運動会
  
- 11. 2 (研修) 抱えない介護勉強会 (年 4 回、講師専任作業療法士 11/3 まで)
  - 2 庄内ふるさと祭り (11/3 まで)
  - 6 (実習) 都城高校 (1 年生 2 名 11/14 まで)
  - 9 (研修) キャリアアップ初級・中級
  - 13 (研修) 県南ブロック相談員
  - 15 (研修) ビジネス文書 (11/22 も)
  - 27 (研修) 県南ブロック特養会
  - 30 事業団清掃ボランティア
  
- 12. 1 庄内川一周駅伝参加
  - 9 そば打ち (12/13 まで)
  - 9 (研修) 高齢者虐待防止
  - 16 忘年会 (12/20 まで)
  - 21 (研修) 抱えない介護勉強会 (年 4 回、講師専任作業療法士)
  - 27 餅つき (施設内)

令和 2 年

- 1. 7 初詣 (各ユニット 1/17 まで)
  - 25 (研修) 抱えない介護勉強会 (年 4 回、講師専任作業療法士 1/26 まで)
  
- 2. 3 (実習) 都城コアカレッジ (2/27 まで)
  - 4 (研修) 宮崎県老人サービス研究大会 (2 名 2/5 まで)
  
- 3. 23 総合避難訓練 (コロナのため 5 月に延期)

### 3 職員の状況

R2. 3. 31現在

施設長	副施設長	相談員・ケアマネ	事務職	支援課長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	3	2	1	53 (10)	5	1	2	9 (8)	2 (2)	80 (20)

( ) は非常勤職員・嘱託契約数を再掲

### 4 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月末現在			在所日数	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	1年度	30年度
4		1	1		1	1	9	41	50	1489	1491
5							9	41	50	1550	1550
6		1	1		1	1	9	41	50	1496	1496
7							9	41	50	1550	1525
8							9	41	50	1550	1548
9							9	41	50	1500	1490
10					3	3	9	38	47	1533	1546
11	1	3	4		2	2	10	39	49	1453	1415
12		1	1				10	40	50	1541	1486
1							10	40	50	1550	1531
2		1	1	1	2	3	9	39	48	1431	1380
3	1	1	2				10	40	50	1546	1543
合計	2	8	10	1	9	10	112	482	594	18189	18001

### 5 在所期間

R2. 3. 31現在

期間	1年未満	1～5年	5～10年	10年以上	平均在所期間
男	1	4	1	4	86.1ヵ月
女	7	21	8	4	47.5ヵ月
計	8	25	9	8	55.2ヵ月

### 6 年齢階層別調

R2. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男		1	2	1	3	1	1		最小年齢 72歳9ヶ月
女		1	1	4	7	13	10	3	最大年齢 99歳4ヶ月
計	0	2	3	5	10	14	11	3	平均年齢 90歳

### 7 要介護状況

R2. 3. 31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男		1	1	3	5	4.2
女			2	22	16	4.4
計	0	1	3	25	21	4.3

## 8 短期入所生活介護事業

利用者が要介護状態になった場合に、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の機能の維持並びに、利用者の家族の身体状況及び精神的負担の軽減を図るように努めた。

利用状況 ユニット型短期入所

R1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	20	21	22	22	26	21	24	25	23	20	18	20	33
延日数	202	211	189	201	217	179	207	208	214	189	192	208	2417
新規利用者	1	1	1	0	0	1	1	4	0	0	2	2	13

\* 参照

延日数	195	263	239	277	260	238	247	239	209	234	196	240	2837
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

利用状況 短期入所生活介護庄内の里

R1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	28	28	28	27	28	28	29	32	28	22	25	24	50
延日数	440	469	480	488	531	431	499	438	462	492	443	415	5588
新規利用者	3	4	2	1	2	1	1	2	2	0	0	4	22

\* 参照

延日数	477	477	493	559	533	522	561	511	519	527	449	476	6104
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

## 9 食の自立支援事業

食事の調理が困難な高齢者に対し、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康保持及び自立生活の援助を図りかつ安否確認を行い、在宅高齢者の福祉の増進をはかるように努めた。

利用状況

R1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	15	15	15	15	17	16	15	15	15	17	17	14	186
配食数	267	269	237	281	271	243	260	236	214	221	204	216	2919

\* 参照

前年度	198	214	209	221	224	200	261	258	234	258	250	267	2794
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

## 10 みやざき安心セーフティネット事業

制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して社会福祉協議会、民生委員等と連携・協働しながら、自立に向けた支援に努めた。

利用状況

R1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数													0名
相談支援件数													0件

## 居宅介護支援業所 ケアプランサービスゆうの概況

### 1 事業の概要

ケアプランサービスゆうでは介護支援専門（ケアマネージャー）5名を配置し在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるよう他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。

また、ご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようサポート・助言を行いました。

コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止を行いながら相談や計画作成、利用調整を要介護者やその家族、各事業所と連携をとり、適切なサービスを利用できるように支援を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

### 2 主たる業務内容

#### (1) 在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

ア 主として自宅へ訪問し相談・助言・指導に努めました。

イ 各種サービス事業者、 民生委員 ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。

ウ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。

エ 包括支援センターと連携を取り困難事例などの受け入れもできる体制を整えました。

#### (2) 指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

ア 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。

イ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし在宅での自立をめざし支援を行いました。

ウ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

#### (3) 主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

ア 個別研修計画に沿った研修会への参加

イ 週1回程度の事業所内研修の実施

ウ 24時間連絡体制を整備

エ 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ

オ 減算のないよう日常業務を実施

カ 他法人との合同研修会の実施

## 令和1年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	8	15	55	37	27	17	5	156
5月	5	14	53	38	28	15	5	153
6月	10	15	53	40	31	16	6	161
7月	3	15	54	41	30	17	4	161
8月	5	15	51	43	30	17	5	162
9月	2	15	48	45	29	16	5	158
10月	5	15	49	44	35	15	6	164
11月	5	15	49	51	32	16	5	168
12月	5	14	49	50	29	17	6	165
1月	3	14	50	50	29	15	5	163
2月	6	15	51	51	24	19	6	166
3月	3	15	54	49	24	17	6	165
合計	60	177	616	539	348	197	64	1942

令和元年度 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスタイム 相談一覧

年月日 担当	A	B	C	D	E	小計	
						介護計画	新規受け入れ
令和元年4月	38+【予防4】	31+【予防3】	21+【予防4】	26+【予防4】	25+【予防0】	141【15】	8
5月	35+【予防4】	31+【予防2】	24+【予防4】	26+【予防4】	23+【予防0】	139【14】	5
6月	34+【予防4】	33+【予防3】	24+【予防4】	27+【予防4】	27+【予防0】	146【15】	10
7月	37+【予防4】	33+【予防4】	26+【予防3】	25+【予防4】	28+【予防0】	146【15】	3
8月	34+【予防4】	34+【予防4】	27+【予防3】	25+【予防4】	27+【予防0】	147【15】	5
9月	33+【予防4】	33+【予防4】	26+【予防2】	23+【予防4】	28+【予防1】	143【15】	2
10月	33+【予防4】	33+【予防4】	27+【予防2】	27+【予防4】	29+【予防1】	149【15】	5
11月	32+【予防4】	31+【予防4】	27+【予防2】	30+【予防4】	33+【予防1】	153【15】	5
12月	31+【予防4】	34+【予防4】	27+【予防2】	27+【予防3】	31+【予防1】	151【14】	5
令和2年1月	30+【予防5】	33+【予防3】	28+【予防2】	28+【予防3】	30+【予防1】	149【14】	3
2月	30+【予防5】	37+【予防3】	29+【予防2】	25+【予防4】	30+【予防1】	151【15】	6
3月	28+【予防5】	35+【予防3】	27+【予防2】	28+【予防4】	32+【予防1】	150【15】	3



## 小規模多機能型居宅介護 創生館の概況

### 1 事業の概況

認知症や要介護者について、住み慣れた自宅や地域での生活が継続できるサポートを行うことを目的に、家の延長線上として過ごせる環境づくりと事業開設に向けた各種手続きを行った。

また、地域住民との交流や地域活動への参加を促進できるよう、シルバーサロンスペースの整備や地域関係者への周知活動を実施した。

令和2年3月30日の事業開設に向けて、地域の学生とともに、パンフレット作成を行い、居宅介護支援事業所等への事業開設の周知を行うと同時に、職員研修を実施し、小規模多機能型居宅介護の事業目的、内容の理解を深める取り組みを実施した。

### 2 主たる取り組み内容

#### (1) 小規模多機能型居宅介護事業開設に向けた届け出等の手続き

- ア 指定地域密着型サービス事業所指定の決定 (令和2年3月26日)
- イ 小規模多機能型居宅介護創生館運営規程の作成、提出
- ウ 設備、備品等の補助金決定 (令和2年2月29日)

#### (2) 創生館建築工事

- ア 地鎮祭 (令和1年10月12日)
- イ 上棟式 (令和1年11月28日)
- ウ 建築定例会議の開催 全17回 毎週火曜日
- エ 設備、備品等の選定

#### (3) 地域住民、関係者、サービス事業所への事業の周知活動

- ア 庄内地区社会福祉協議会支援会議での説明 (令和2年2月6日)
- イ 庄内地区民生児童委員定例会での説明 (令和2年2月10日)
- ウ 乙房地区地域支援会議での説明 (令和2年2月12日)
- エ 西岳地区民生委員定例会での説明 (令和2年3月6日)
- オ サービス事業所へのパンフレットを送付 (令和2年3月27日～)
- カ 内覧会(新型コロナウイルス感染予防のため縮小実施) (令和2年3月24日)

#### (4) 研修、先進地施設見学

- ア 研修 全3回実施 (令和2年2月7日、3月6・13日)
- イ 先進地施設見学 場所 福岡市よりあい宅老所 (令和2年2月14日)

### 3 職員の状況

(令和2年3月31日現在)

管理者	看護職員	介護職員	調理員	計
1名	1名(0名)	5名(0名)	0名(0名)	7名(0名)

( ) 内は非常勤職員数を再掲

## 1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

### (1) 入浴

高齢者に適した温度等に留意し快適な入浴が楽しめるよう配慮を心がけた。認知症にて入浴や洗髪に拒否のある方へはタイミングや内容を考慮しながら声かけを行い気持ち良く入浴していただき清潔保持に努めた。

### (2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じ日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを看護師にて作成し自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

### (3) 送迎

利用者の心身状態や天候に合わせ、車内の座る位置を配慮し、利用者間の会話がスムーズにいくよう努めた。また、怪我がないよう細やかな声かけを行い安全な乗降に努めた。

### (4) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて適切な形態の昼食を提供。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。利用者の嗜好、アレルギーや心身状態の変化にて食事内容や形態へ変更要望には、栄養士と連携し利用者の状況に対応した。バイキング方式導入にて自立支援及びQOLの拡大に努めた。

## 2 健康管理

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。デイ到着時に再度測定を実施した。バイタル異常や気分不良、疾患を確認し次第、ご家族やケアマネージャーに連絡し対応を行った。必要に応じて水分補給を行い、夏季は経口補水液の提供も行い、熱中症や脱水症予防に努めた。

新型コロナウイルス感染症予防対策として乗車前検温と健康観察を行い、施設内設備の消毒および手指消毒を徹底し、衛生管理に努めた。

## 3 地域との交流

西岳地区文化祭への作品出展、出演参加により施設機能の開示を進め、地区民生児童委員ならびに地区自治公民館への情報交換に努めた。ボランティア演芸日は、気軽に対寄っていただけるよう地域の方に広報を行った。毎月、デイサービス通信を発行し利用者の御家族へ配信を行った。

## 4 職員の資質向上

職員に対して介護保険の動向ならびに個別援助計画作成の周知を図った。また、研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の内部研修会、毎月の職員会議において課題の検討を行い職員の資質の向上に努めた。西岳デイの方針を明確に提示し働く意義や意識を統一し組織人としての連携を図る事で最良のケアを提供出来るよう努めた。

## 5 具体的実施状況・利用実績

令和元年度 年間行事計画実施状況

西岳デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会(誕生者へ創作物のプレゼント)	毎 日	個別カードによる個別運動
	2 職員会議(行事、レク内容協議、意見交換)		口腔嚥下体操
月例行事	4 各種ゲーム	年 間	ラジオ体操・各種体操
	5 個別援助計画作成		避難訓練(6月10月)
月例行事	6 利用予定カレンダー作成		嗜好調査(3月)
随 時	自然災害・利用者異変時の対応(全スタッフ) ボランティア受け入れ		
4月	制作活動(こいのぼり作成)・泉会訪問		
5月	郊外レク(アヤマ見学)・茶話会(嗜好調査)・泉会訪問		
6月	制作活動(七夕飾り)・七夕飾りつけ・泉会訪問・避難訓練		
7月	郊外レク(都城図書館など)・カキ氷作り・アロママッサージ・泉会訪問		
8月	制作活動(うちわ)・泉会訪問、アコーディオン演奏会		
9月	敬老会・訪問(泉会・九州プロレス)・アロママッサージ		
10月	運動会・泉会訪問・制作活動(文化祭出展用)・避難訓練、アコーディオン演奏会		
11月	西岳地区文化祭展示・参加・郊外レク(柿狩り・紅葉見学)・泉会訪問		
12月	制作活動(正月飾り)クリスマス会・忘年会・アロママッサージ・泉会訪問		
1月	茶話会・初詣(霧島神宮)・泉会		
2月	豆まき・制作活動(雛飾り)・泉会訪問、アコーディオン演奏会		
3月	茶話会(ひな祭り)・郊外レク(母智丘・桜花見)・泉会訪問、アコーディオン演奏会		

## 庄内デイサービスセンターの概要

### 1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

#### (1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

#### (2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上できるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを看護師にて作成し自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

#### (3) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れて適切な形態の昼食を提供した。入浴後の厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

### 2 健康管理

利用者の表情、顔色等を観察し、看護師により血圧、脈拍、体温測定を実施した。常に利用者の健康状態を把握してサービス提供の基本とした。また、経過記録等の統計を用い、ケアマネ含む専門職間にて情報共有を行い状態変化の早期発見に努めた。

新型コロナウイルス感染症予防対策として乗車前検温と健康観察を行い、施設内設備の消毒および手指消毒を徹底し、衛生管理に努めた。

### 3 地域との交流

施設機能の周知を図るため、地域のボランティアや学校との交流が出来るよう環境を作った。

### 4 職員の資質向上

職員を研修実施機関が実施する講習会、研修会等に積極的に参加させるとともに、隔月に独自の職員合同研修会、毎月の職員会議において課題の検討を行い職員の資質の向上に努めた。

### 5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和元年度 年間行事実施状況

庄内デイサービスセンター

月例行事	1 誕生会	毎 日	個別カードによる個人予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
	3 個別援助計画作成		口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		ケース会議
	5 利用予定カレンダー作成	年 間	避難訓練(3月、9月、10月)
	6 スカットボール大会		嗜好調査、行事意向聴取
随 時	身体測定(身長、体重)・喫茶		
4月	日替わりレク・創作活動・郊外レク(桜花見)・アコーディオン演奏会		
5月	日替わりレク・郊外レク(アヤマ、ツツジ)・調理レク・アコーディオン演奏会		
6月	日替わりレク・創作活動(七夕)・郊外レク(アジサイ)・アコーディオン演奏会		
7月	創作活動(七夕)・日替わり・リクエストレク・喫茶・アコーディオン鑑賞・西岳デイとの交流会、		
8月	創作活動・日替わりレク・西岳デイとの交流会・調理レク・郊外レク(南酪農見学)		
9月	創作活動・ビンゴ大会・敬老祭・日替わりレク		
10月	創作活動・運動会・日替わりレク・郊外レク		
11月	創作レク・日替わりレク・調理レク		
12月	創作活動・忘年会・日替わりレク・アコーディオン演奏会		
1月	初詣・趣味活動(書初め)・新年会・日替わりレク・創作レク		
2月	節分・日替わりレク・創作活動・調理レク		
3月	日替わりレク・雛飾り・創作活動・郊外レク(桜花見)		

## 横市デイサービスセンターの概要

### 1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して事業を実施した。

#### (1)入浴

高齢者に適した湯温管理、浴室内での事故防止に留意し、在宅生活が維持向上できるよう利用者に声かけを行い、洗身、衣類着脱、整容等の入浴動作全般について自律支援を目標に支援が必要の方において、できるだけ可能な範囲で入浴全般の一連の動作に必要な声かけ支援を行った。

#### (2)機能訓練およびレクリエーション

利用者の特性に応じて体調管理を行い、融和を図りながら日常生活動作訓練、身体、脳を使うレクリエーション等を提供し、身体機能の維持向上を目標となるよう工夫した。内容については、団体でのレクリエーションのほか、個別に取り組める筋力維持及び低下予防につながる運動内容を提供し、自己選択自己決定できる環境を作った。なお、プログラム内容は3ヶ月おきに見直しを行った。

#### (3)給食

楽しい雰囲気と落ち着いた環境を提供して、利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、個人の体質に合わせた条件を基に、それぞれの要望に応える昼食を提供した。一年を通じ、水分補給用の麦茶と経口補水液を提供し、脱水症及び熱中症予防に努めた。また、厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。

### 2 健康管理

送迎時には利用者の状態観察を行い、到着後は体調安定を確認後、血圧、脈拍、体温測定を実施した。利用中、急変時、気分不良や体調悪化がみられ次第、看護師と協議をし、ご家族、ケアマネージャーに報告の上、医療機関への搬送等、迅速かつ適切な判断をした。

新型コロナウイルス感染症予防対策として乗車前検温と健康観察を行い、施設内設備の消毒および手指消毒を徹底し、衛生管理に努めた。

### 3 地域との交流

地域のボランティアや学校・幼稚園などとの交流を重ね、定期的に来所いただける環境を作り、交流を深めた。また、デイサービス通信を発行し、利用者ご家族、居宅介護支援事業所に毎月配布し、活動の様子報告を行った。

### 4 職員の資質向上

利用者に関する新たな情報の伝達の申し送りを徹底するため、職員間での情報の共有ができるよう、申し送り帳への記入を義務化し、振り返り確認ができるようにした。また毎月の職員会議時に職員の意見交換を行い、職員個人の意見、アイデアを導入できる体制づくりに努めた。また、隔月に独自の職員研修会を実施して職員の資質の向上に努めた。

### 5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

令和元年度 年間行事実施状況

横浜市デイサービスセンター

月 例 行 事	1 誕生会	毎 日	下肢筋力低下予防運動
	2 職員会議 職員研修		通所介護計画実行記録
	3 個別援助計画作成	年 間	口腔嚥下体操
	4 屋内外清掃		個別運動プログラム
	5 ステップ運動		避難訓練(9月、3月)
	6 利用予定カレンダー作成		嗜好調査(2月)
随 時	個別運動プログラム 体重測定 ボランティア受け入れ 園芸(季節の花植え) 全身ストレッチ体操		
4月	花見(桜)・ボーリング・棒体操・こいのぼり見学・茶話会		
5月	魚釣りゲーム・ダンベル体操・買い物(ふくろうの会)・タオルゲーム		
6月	タオル体操・柔軟体操・8020運動・郊外レク(あじさい公園)・ゲーム(雷ゴロゴロ)		
7月	七夕飾り作成・ピンポン玉ゲーム・買い物レク・おみこし作り		
8月	おみこし作り・ヨーヨー作り・夏祭り・アコーディオン演奏会		
9月	ステップ運動・料理教室・郊外レク(都城市立図書館)・創作(ツバキ飾り)		
10月	スカットボール大会・文化祭出品作品づくり・棒体操		
11月	タオル体操・陶芸教室・頭の体操・紅葉狩り(霧島方面)・選択レク		
12月	しめ縄作成・忘年会・演芸会・アコーディオン演奏会		
1月	新年会・福笑い・ダンベル体操・初詣(神柱宮・霧島神宮)		
2月	ゲーム(鬼は外)・買い物ゲーム・棒体操・ひな人形作り・アコーディオン演奏会		
3月	交通安全教室・棒体操・頭の体操・ゲーム(輪投げ)・花見(桜)		

令和元年度 事業別利用人員実績一覧

西岳デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	210	229	198	215	195	198	187	179	164	158	166	197	2,296	191
	1日平均利用人員	9.5	10.0	9.9	9.3	8.9	9.4	8.1	8.5	8.2	7.9	8.3	9.0		8.9
介護予防 総合事業	月間利用延人員	60	68	63	71	52	55	50	46	55	60	60	63	703	59
	1日平均利用人員	2.7	3.0	3.2	3.1	2.4	2.6	2.2	2.2	2.8	3.0	3.0	2.9		2.7
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	33	48	46	51	45	49	54	46	42	39	22	26	501	42
	1日平均利用人員	1.5	2.1	2.3	2.2	2.0	2.3	2.3	2.2	2.1	2.0	1.1	1.2		1.9
合 計	開所日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22	257	21
	職員体制	4	4	4	5	5	5	5	5	4	4	5	5		5
	月間利用者総数	303	345	307	337	292	302	291	271	261	257	248	286	3,500	292
	1日平均利用人員	13.8	15.0	15.4	14.7	13.3	14.4	12.7	12.9	13.1	12.9	12.4	13.0		13.6

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	363	352	310	364	312	300	311	309	312	290	272	313	3,808	317
	1日平均利用人員	16.5	15.3	15.5	15.8	14.2	14.3	13.5	14.7	15.6	14.5	13.6	14.2		14.8
介護予防 総合事業	月間利用延人員	64	60	48	71	53	55	82	74	58	56	52	51	724	60
	1日平均利用人員	2.9	2.6	2.4	3.1	2.4	2.6	3.6	3.5	2.9	2.8	2.6	2.3		2.8
元気アップ 総合事業	月間利用延人員	5	9	11	20	30	34	42	25	17	25	28	32	278	23
	1日平均利用人員	0.2	0.4	0.6	0.9	1.4	1.6	1.8	1.2	0.9	1.3	1.4	1.5		1.1
合 計	開所日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22	257	21
	職員体制	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8		8
	月間利用者総数	432	421	369	455	395	389	435	408	387	371	352	396	4,810	401
	1日平均利用人員	19.6	18.3	18.5	19.8	18.0	18.5	18.9	19.4	19.4	18.6	17.6	18.0		18.7

横市デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険 通所事業	月間利用延人員	227	261	251	240	216	206	217	231	211	208	182	174	2,624	219
	1日平均利用人員	10.3	11.3	12.6	10.4	9.8	9.8	9.4	11.0	10.6	10.4	9.1	7.9		10.2
介護予防 通所事業	月間利用延人員	52	50	81	99	86	80	94	97	103	104	99	114	1,059	88
	1日平均利用人員	2.4	2.2	4.1	4.3	3.9	3.8	4.1	4.6	5.2	5.2	5.0	5.2		4.1
元気アップ デイ事業	月間利用延人員	37	38	37	42	42	46	46	39	39	39	39	39	483	40
	1日平均利用人員	1.7	1.7	1.9	1.8	1.9	2.2	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0	1.8		1.9
合 計	開所日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	22	257	21
	職員体制	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		7
	月間利用者総数	316	349	369	381	344	332	357	367	353	351	320	327	4,166	347
	1日平均利用人員	14.4	15.2	18.5	16.6	15.6	15.8	15.5	17.5	17.7	17.6	16.0	14.9		16.3



## 地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

### 1 運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

### 2 事業の概要

#### (1) 総合相談支援

各分野の専門職を配置し、3職種を中心に地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

#### (2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域の集いへの参加等を通じ啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。困難なケースに対して職員間で相談しチーム対応を行った。地域の介護支援専門員からの相談に対し、助言や指導にて後方支援を行った。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室（こけないからだ作り講座）の普及・支援に努め、総合事業、予防給付が効率的かつ効果的に提供されるように適切にケアマネジメントを行った。

(5) 認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員会を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

(6) 日常圏域ニーズ調査

次期福祉計画のための日常圏域の65歳以上の住民に対し調査を行、ニーズ把握を行った。(令和元年度で終了)

＜包括＞令和元年度 実績報告

月	相談件数										ニーズ調査	予防プラン (委託: 下段)	こけない 体操教室	多職種連 携会議
	総合相談	権利擁護	包括的・ 継続的ケ アマネジ メント	介護保険 申請	福祉サー ビス	保健医療	介護予防	個別事例 会議	計					
4月	75	8	3	24	4	8	5	1	128	0	291 117	8	12	
5月	119	8	7	12	11	18	3	0	178	0	287 118	5	18	
6月	125	9	10	20	10	15	3	0	192	0	284 116	5	20	
7月	137	10	11	17	19	15	7	1	217	0	276 116	11	25	
8月	104	12	7	8	26	15	11	2	185	0	280 119	9	12	
9月	128	14	10	24	27	22	7	0	232	0	267 113	9	12	
10月	111	5	6	11	14	17	5	0	169	0	267 116	6	14	
11月	88	8	6	15	8	15	5	0	145	0	286 112	5	15	
12月	111	11	12	10	11	13	5	0	173	30	267 110	4	13	
1月	131	9	10	13	21	18	4	0	206	20	259 107	10	11	
2月	128	14	13	13	14	23	12	3	220	113	259 110	10	10	
3月	143	7	11	18	17	19	7	0	222	623	266 111	7	5	
合計	1400	115	106	185	182	198	74	7	2267	786	3289 1365	89	167	